

やまがアートムーブ

【団体名】 やまがアート実行委員会

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 山鹿市平小城地区・三岳地区では、少子高齢化の進展に伴う地域コミュニティの希薄化に加え、地域の小中学校の閉校によって、地域の活気がさらに失われることが懸念されました。
 - 一方で、同地区は、チブサン古墳等多くの史跡を有し、これらを題材とした作品も制作されていますが、地域の方にとってアートは遠い存在です。
 - また、コロナ禍にあって、地域のアーティストや生徒の活動発表の場も減少しています。
- ⇒ 地域が生み出す「アート」を地域資源として掘り起こして発信し、地域内外の方に地域の魅力を再認識してもらうことで、地域コミュニティの再構築に取り組んでいます。



取組みの概要

- ◆ 総合的なアートイベントの開催【会場：旧鶴城中学校】
 - ・ 地域在住作家等の「アート作品の展示」
 - ・ 園児、小中学生等による「ステージ発表」
 - ・ 地元高校、農協等による「マルシェ」等
- ◆ アートイベントに向けたプレイベントの開催
 - ・ 小中高校生が制作する「黒板アートチャレンジ」
 - ・ 幼児、小中高校生が制作する「段ボール迷路」
 - ・ 地域の方と一緒に作る「田んぼでアート」等



取組みの成果・現在の取組み状況

- 交流人口の拡大
 - ・ 市内外から、R3年度3,000人超、R4年度4,000人超が来場しました。
 - 「地域の魅力」の再認識
 - ・ 地域及び山鹿市出身・在住の芸術家が市内外の方に認識され、アートと地域資源の結び付けに成功しています。
 - ・ 地元小中学生は、地域への関心が高まり、故郷への愛着が育成されています。
- ⇒ 今後も、SNS等による情報発信と自主財源の確保に積極的に取り組み、地域との連携も一層強化しながら、イベントを定着させていく予定です。

